

牧之原市市長 杉本基久雄 様  
牧之原市教育長 橋本勝 様

## 牧之原市の小中一貫校(義務教育学校)について市民が考えるための署名のお願い

今年(2022年)の3月、牧之原市の教育委員会は、市内の旧榛原町の榛原中学校、川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校と旧相良町の相良中学校、相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、地頭方小学校の10校の小中学校を全部なくして、学校を再編し、小学校と中学校を一緒にした学校(小中一貫校と言います)を2校作るという計画を決めました(なお、牧之原小学校、中学校だけは残ります)。

皆さん知っていましたか。私たちの母校がなくなるわけです。このことを知って活動を始めたのが、私たち「牧之原市の小中一貫校(義務教育学校)を考える市民の会」です。私たちは、市民のみんなと一緒に考えたらもっと良い計画になると思い、小中一貫校について勉強してきました。そこで分かったのは、多くの市民の方々が、この計画について十分に知らなかったり、いろいろと不安に思っていたりすることです。

「地元で学校がなくなったら地域がさびれてしまうんじゃないか」

「1000人規模の大きな学校では先生の目が行き届くだろうか、いじめがあっても気づいてもらえないんじゃないか」

「スクールバス通学で、子どもたちの安全はどうなるの。昼間、子どもの姿がない地域って大丈夫なんだろうか」

「何かあったらすぐに迎えに行けない学校に子どもを預けていいんだろうか」など。

たくさんの不安があります。そこで、私たちは、この計画について立ち止まって考えてもらいたいと思い、教育委員会に意見書や請願を出してきました。しかし、教育委員会は、「市民の意見は十分に聞いたので、大丈夫です」などと、立ち止まってくださりません。そこで、教育委員会に、以下の内容をお願いすることにして、この署名活動を始めました。子どもも大人も、ぜひ署名してください。

市長・教育委員会へのお願い

- 1 学校を再編する計画について、牧之原市民全員の考えを知るアンケート調査を実施しましょう
- 2 市民と一緒に、未来の学校について考え・学ぶ会(シンポジウム)を開きましょう
- 3 これまで、市民が計画に対して寄せた意見(パブリックコメント)と、それに対する教育委員会の回答について、市民と一緒にふりかえる会(対話集会)を開きましょう
- 4 市民の「おすすめ」の専門家に、教育委員会が考えている計画をチェックしてもらいましょう
- 5 学校を再編するために必要なお金(予算)についてどんな議論がされてきたかを教えてください。また、今後、計画を実施するための発注の内容について事前に公表し、また、契約を結んだらその内容を公表してください

名 前	住 所	年 齢